

I 出題の趣旨

- (1) 社会の諸問題に目を向け、そこから課題を見つけ出すことができるかをみる。その際、今までに学習した知識を用いて、探究活動につなげられるかをみる。
- (2) 社会のありかたに大きな影響を及ぼす感染症への対応について、多角的に課題を見出す力をみる。その際、他国や過去との比較や資料やデータ、英文から情報を正確に読み取り、解決に導くためのヒントを得て、論理的な文章として総合し、表現できる力をみる。
- (3) 複数の文章や資料を通して多面的に自身の考えを、日本語または英語で述べることができるかをみる。

II 評価の観点

- 1 問1 表の数値を正しく読み取り、打率の計算ができるか。
問2 問1とは逆の計算過程であることが理解でき、計算できるか。
問3 問題文から必要な情報を正しく読み取り、それをもとに式を立て、値を求めることができるか。
- 2 問1 顕微鏡の基本操作について、理解できているか。
問2 問1の操作から、像がどのようにできるかを考えることができるか。
問3 凸レンズによってできる実像と凸レンズによる虚像の見え方を、組み合わせで考えることができるか。
- 3 問1 資料を正しく読み取り、文章の内容を適切に表現することができるか。
問2 資料から必要な情報を正しく読み取り、自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析し、適切に表現することができるか。
問3 スペイン風邪や当時の社会について資料から正しく読み取ることができるか。
問4 与えられた資料を正しく読み取り、批判的な思考や視点から物事を正確に理解することができるか。
- 4 問1 与えられた会話文の内容を正しく読み取ることができるか。
問2 文脈に合うように文法的に正しく並べ替えることができるか。
問3 与えられた資料や会話文を参考に、自分の考えやその理由を英語で正しく表現することができるか。
- 5 問 課題文の趣旨をふまえて、自らの能動的な学びについて考え、表現できるか。